

## ISO/TC 127（土工機械）/CAG 議長諮問グループ会議報告

標準部会 ISO/TC 127 土工機械委員会 砂村（日立建機）、出浦（コマツ）

1 会議名称：ISO/TC 127（土工機械）/CAG議長諮問グループ会議

2 開催日：平成24年 2月10日

3 開催地：ドイツ国フランクフルト（アムライン）市 VDMA（ドイツ機械工業連盟）会議室

4 出席者：米国2：Dr ROLEY、Mr CROWELL（Caterpillar）、英国1：Mr C AMSELL（Terex）、日本2：砂村（日立建機）、出浦（コマツ）計 5名出席

● ISO/TC 127国際議長：Dr ROLEY（米国、Caterpillar社）

5 主要議題、議決事項、特に問題となった点及び今後の対応についての所見：

### 5.1 主要議題

#### 5.1.1 2012年総会

- ・時間割はベルリン総会と同様の予定。
- ・ホテル料金は団体料金で交渉し、割高にならないように努める。

#### 5.1.2 WG状況

- ・以下のWGは別のPL（プロジェクトリーダー）が必要と思われる。

SC 1/WG 9-ISO 3471（アルミニウム製転倒時保護構造）：コンビナー兼PL：Olsson氏

SC 3/WG 10-ISO 7130（運転員の教育）：コンビナー兼PL：Llewellyn氏（付記：これは疑問、既に国際規格案DISの承認投票に進んでいる）

- ・ISO 14990（電気駆動及びハイブリッドの安全性）：IEC 60204の文面を転載する点に関してのIECとの交渉は決裂。ISOではIECをあくまで参照（してIECの当該箇所を見る）するしかない。

- ・ISO 8643（ブーム降下制御装置のアーム降下制御への拡張）：EN改訂中のため、改訂加速要。

- ・ISO 10906（音響警報装置－室内試験手順及び要求事項）：SC 3幹事国（日本）からコンビナー兼PL（のBurdette氏）に督促要。

- ・TS 15998-2（電子制御のISO 15998-1適用指針）はドイツ、ベルギー、UK等の反対票が多く、否決されるかもしれない。-1も含めて仕切りなおしが必要となる可能性が高い。ブラジルで審議要（付記：投票結果として既に承認済みで、発行へ向けてshallの不適切使用を是正するなど各国意見への対応含め発行用最終案文を準備中）

- ・ISO 6405（識別記号）CROWELL氏がPLのGast氏（John Deere社、識別記号を横断的に扱う国際議長でもある）に各分野の識別記号をISO/TC 145/SC 3で横断的に登録してISO 7000として発行するためにISO 6405改訂で必要な手順（提案様式）を問合せしてくれることとなった（付記：識別記号作成の規定を定める横断的な規格に適合している必要があり、また、手順もISOのルールとし

て別途規定されている)。

- ・ ISO 15143 (施工現場情報交換) は知名度が低く、米国AEMP (使用者団体) が独自の規格を作ってAEMに提案してきたので、AEMは本規格を紹介したとの報告があった。

### 5.1.3 今後のWG

- ・ WGは半年前に計画を公開する。
- ・ 2, 3件のWGを固めて1週間内に計画する。
- ・ なるべく無料の会議施設で行うようにする。例えばVDMAは無料で会議室と昼食を提供。

### 5.1.4 新業務項目提案候補

- ・ 前回ベルリン総会で新業務項目提案の可能性のある項目リストで優先度高の案件のうち、新規提案未実施は以下の3件

- ISO6683 (シートベルト)、ISO 10968 (操縦装置) : 別のPLが必要と思われる。

- 大形機械 近日中にROLEY氏が起案予定

- EMESRT やEUPG (鉱山業団体N698 2011.10.26-27 CEN/TC151会議) の動きもあり、早急に対応必要。

- ・ 日本提案によりISO 15817, ISO 9533を追加。
- ・ 日本提案の10968,3411は、10968の中で扱ってはどうか? 10968はスウェーデンが提案予定だが動きがないので、ROLEY氏が意向を確認する。スウェーデンからの提案が難しそうならば、日本がPLとなって進めてはどうか? との打診あり。

### 5.1.5 TC127運営について

- ・ 中央事務局はWebEx利用を推奨しているが、時差と言語の問題で難しいという見解で一致。

- ・ 英語以外への翻訳について、従来FDIS時に実施しているが、前倒ししてDIS時に考慮する。

- ・ WG専門家は必ずISOライブラリンクに登録のこと。

### 5.1.6 次回2014年総会開催国候補

- ・ インドで行いたいのが、適当な会場が見つからない。各社に情報収集依頼する。
- ・ インドが無理な場合は、スウェーデンまたは米国を候補とする。

**6 所感** 総会に比べて人数も少なく、各自の関心事をざっくばらんに話す機会を持ててよかった。WG会議は欧州開催が多く、不便を感じていたが、無償で会議環境を提供してくれるメリットがあることがわかった。日本でも同様の利便をはかってもらえるとありがたい。

### 7 次回開催予定: (開催年月日、開催国及び都市名)

2012年10月 ブラジル総会前日に会場にて

以上